

えんがわ会議で出た仲深区の課題、長所、理想の将来像

区や班の活動

困っていること

- ・高齢のため草刈りが難しくなっている
- ・地区のまとまりがうすくなってきてている
- ・区内に神社が3つある
- ・人不足で祭りの運営が大変
- ・担い手が不足している

良いところ

- ・人が優しい
- ・こまめに話せる
- ・行事等に協力的である
- ・いきいきサロンがある
- ・百歳体操がある
- ・野菜などを分け合っている
- ・草刈りが行き届いている
- ・夏場(台風前など)に高齢者への声かけをしている
- ・皆で見守る体制がある
- ・伝承事に協力している



理想の将来像

- ・祭を継続して開催している
- ・無理のない活動ができている
- ・比木神社巡回接待が続いている
- ・地域で集う場(サロン、百歳体操)が続いている

農業・林業

困っていること

- ・気力、体力がなくなってきている
- ・農林業の後継者が不足している
- ・百歳体操がある
- ・野菜などを分け合っている
- ・草刈りが行き届いている
- ・夏場(台風前など)に高齢者への声かけをしている
- ・皆で見守る体制がある
- ・裸山が多くなっている

良いところ

- ・農業に前向きな農家が多い
- ・柿園、苺園など果物が豊富にある
- ・観光農園(柿、苺)がある
- ・オリーブの栽培が進んでいる
- ・椎茸づくりが拡大している
- ・耕作できる人が飼料作物を作付けしている
- ・8haのヘベス団地ができた
- ・カモミールの栽培が広がっている

理想の将来像

- ・果樹園が増加している
- ・遊休地で栗が栽培されている
- ・カモミール畑が広がり、収入を得ている
- ・ヘベス団地で雇用が増えている
- ・獣害対策で犬の放し飼い特区ができる
- ・ジビエの加工場ができる
- ・猪を獲る人が増えて、ジビエ関係の仕事が生まれている
- ・猪、鹿より人が増えている

移住・定住・空き家

困っていること

- ・空き家の状態が悪くなっている
- ・空き家が目立つ
- ・移住したい人はいるがすぐに住める空き家がない
- ・空き家を貯め相手に対して不安がある
- ・使用できる空き家が少ない
- ・空き家バンクに登録していない
- ・移住者が定着するための仕事がない

良いところ

- ・空き家に帰って来る人がいる
- ・日向市内から移住予定の人がいる
- ・移住者が増えている

理想の将来像

- ・空き家バンクに登録している
- ・高齢者のシェアハウスができる
- ・空き家が有効活用されている
- ・空き家世話人がいる
- ・空き家が管理されている
- ・ドッグラン+カフェができる
- ・お試し移住により、移住者も地域も互いに理解を深めることができる
- ・若者が増えている
- ・ターン者が増えている
- ・子供が増えている
- ・元気な高齢者が増えている
- ・高齢者にライングループができる

移動手段・交通

困っていること

- ・交通手段が自家用車しかない
- ・交通手段が少ない
- ・バスの本数や時間が不便
- ・乗り合いバスが利用したい時間はない
- ・高齢者の移動が難しい
- ・移動販売が無くなっている

良いところ

- ・隣の人が買い物に連れて行ってくれる
- ・高齢者に声掛けして一緒に出掛けている
- ・1乗車200円で日向に行ける(期間限定の宮交バス)



理想の将来像

- ・移動に不自由していない
- ・ライドシェアが始まっている
- ・介護タクシーが増えている
- ・乗り合いタクシーがある
- ・乗り合いバスの路線が拡大している
- ・セニアカーがレンタル可能になっている

その他

困っていること

- ・少子化が進んでいる
- ・人口が少なくなっている
- ・若者がいない
- ・高齢者が多い
- ・台風の被害がある
- ・公民館が土砂災害時の避難場所として使えない

良いところ

- ・移住者の家庭に子どもが生まれて地域に活気が出た
- ・キャンプ場が近い
- ・小学校が近い
- ・郵便局が近い

理想の将来像

- ・農協事務所跡地に市営住宅ができる



牧水が愛した自然と絆がつながる東郷～日向市東郷地域振興計画～

方針2 安心して暮らせる地域集落をつくろう

仲深区えんがわ会議結果

第1回 令和5年12月15日(金)【参加者数19人】

第2回 令和6年1月26日(金)【参加者数13人】



令和5年度に『仲深区えんがわ会議』を開催し、10年後の“理想の仲深区”について参加者のみなさんで考え、今後必要になる取組を出し合いました。

その中で、特に意見の多かった理想の将来像3つと、それらを達成するために必要な取組について関係性をまとめました。

地域づくりは、無理をせず、ポジティブに、少しづつでも継続することが成功の秘訣です。『仲深区えんがわ会議』で出た全ての課題、長所、理想の将来像については裏面に掲載していますので、今後の地域づくりにおけるヒントとしてご活用いただけますと幸いです。



仲深区の理想の10年後に向けて



- ◆無理をせず地域活動を継続しよう！
- ◆移動に不自由しないようにしよう！

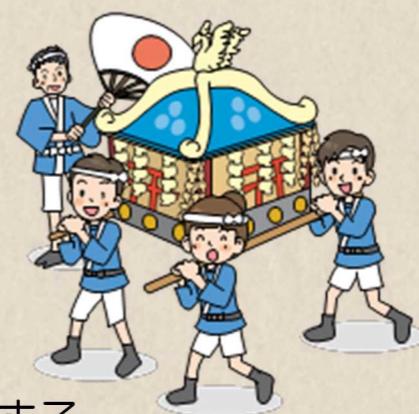
- ◆仲深区民を増やそう！

…そのためには…

地域
活動を
継続する



- ◆ 祭りのしきたり等を継承する
- ◆ 急がずに無理をしない
- ◆ 高齢者は出事を免除する
- ◆ 人が減ってもできる活動を考える
- ◆ 活動を整理して、ゆくゆくは班を合併する



移動に
不自由しない



- ◆ ライドシェアに取り組む
- ◆ 免許を返納しても移動できる地区を目指す
- ◆ 班の中で車に乗り合って移動できるようにする



人を増やす



- ◆ 空き家情報の確認・整理を行う
- ◆ 空き家バンクに登録し、移住者を呼び込む
→「空き家世話人」を設置する
- ◆ 雇用をつくる
 - ・春=力モミール
 - ・夏=ヘベス
 - ・秋=柿
 - ・冬=椎茸
- ◆ 遊休地を活用する